

当集落で生産した野菜を利用したキムチを主とした漬物開発・製造・販売事業

加工

直売

申請者

農事組合法人 末友営農組合

総合化事業の目標

- ◆ 売上に占める米の比率が99%以上を占め、毎年の米価の変動により、多大な影響を受けることから、集落の土壌に適合すべく生産していたキャベツ、ニンジン、白菜等野菜について、平成23年度から1.5haの生産面積に増加。さらに、付加価値を高める取組みとして、当組合で生産している白菜、ニンジン、タマネギ、しょうがを活用してキムチ漬けにすることを研究しながら商品化を目指している。

総合化事業の具体的内容

集落内で生産した野菜を活用した、辛味の強い『おとこキムチ』や、辛み控え目の『おふくろキムチ』等の漬物の商品開発・生産。

市内道の駅「メルヘンおやべ」、地元直売所「きたかんだの郷」JAいなばAコープでの「顔の見える」直接販売により、地域ブランド化を進め、当集落の更なる収益拡大並びに経営向上を図り、広く地域に浸透することで、『末友野菜』の認知度を高めていく。

- ◆平成11年5月に設立した農事組合法人、組合員は末友集落に居住する70名で構成。平成19年に米でエコファーマーの認定を受け、堆肥舎を整備しながら安心して購入できる安全な米の生産で差別化を図り販売を実施。

